

玉樹 だより

社会福祉法人 絢会 つむぎかい

2018年 5月 第43号



若葉の鮮やかな季節となりました。日頃より運営につきましては、利用者様や入居者様そのご家族はじめ、地域の皆様方、関係各位によるご理解とご協力、ご支援を賜り心より感謝申し上げます。

2018年度となり、介護報酬の改定が行われました。介護保険事業を営む当法人にとって、そこで示される方向性や施策は法人や施設の経営に大きく関わってきます。報酬の改定による収益の増減、加算取得のための体制整備。これらの変化への柔軟な対応と順応は、法人として地域の皆様に選ばれるためにも、とても大切なものです。

しかし、介護保険制度に追従するだけでは魅力ある法人にはなれないとも考えています。法人が何のために存在し、活動によってどんな社会を目指しているのか。という基本理念をもって、ぶれずに継続していくことが何よりも必要です。

玉樹も開所して12年が経過しました。当初から一貫して大切にしてきたことは「一人ひとりとしっかり向き合い、ひとりをちゃんとケアする」ことです。その原点となっているのは生活介護研究所との出会いです。玉樹が開所するときのオープン研修からお世話になり、以降、研修会の開催やアドバイザーというかたちで長年関わってくれていました。

その代表、坂本宗久氏が3月に永眠されました。多大な影響を与えてくれた方です。7年ほど前にがんを患い、それでも闘病しながら全国の介護現場を周っていました。玉樹にも定期的に足を運んでくれ、ずっと変わらず介護の理想と本質を伝えてくれました。その情熱と伝えてくれた一言、一語一句が染み込んで、今の「玉樹」と「じゅげむ」をかたちづくっています。

公私ともにお世話になり、たくさんのことを教えていただきました。その遺志を力不足ではありますが精一杯かたちにし、ぶれずに継続していくのが私の使命であり、法人の姿勢であると思っています。

新年度となり、新しい職員も加わり新しい風が吹きました。【普通に暮らす幸せ】の理念のもと、誰もが普通に暮らせ、ささやかな幸せを感じられる社会を地域とともにつくっていきたいと考えております。これからも絢会への相変わらぬご支援ご指導のほどをよろしくお願い申し上げます。

2018年4月吉日

社会福祉法人 絢会 法人本部長 吉川秀貴

掲載された写真は、本人様並びに家族様の了承の上で掲載しております



桜の季節を一緒に感じたい

今年もこの季節がやってきました。桜を観るだけで気持ちが明るく、幸せな気持ちになります☆



八千代公園の桜



桜の枝、落ちてました (笑)



みんなで♪



担当職員と一緒に楽しむ♪

桜の木の下でランチ会やお茶会をしたり♪
馴染みの場所に桜を観に
いったり・・・
それぞれ楽しい時間を
過ごす事ができました！



家族さんと一緒に



すいさんと桜



特別な日を★桜の下で

特養 家族説明会

平成30年4月28日(土)29日(日)、特養家族説明会を開催しました。多くの家族様が参加して下さいました。

第1部は入居されていた故・湯本みち様の家族様より、玉樹で看取るまでを体験談としてお話しいただきました。『大切な人を看取るということ』を同じ家族様の立場から、関わりや葛藤、気持ちの変化など・・・リアルな声を聴かせていただきました。私たちも、自分達の関わりを考える機会をいただき、今後に生かしていきたいと思いました。

また、大川栄養士より「玉樹の食事です事にしている事」の発表があり、その食事が最後になるかも知れないという事を忘れず、「美味しかった～」と語っていただける様に一食一食を大切に考えている事、「食べたい!」と気持ちが動くようなイベント食の企画についての話がありました。

看取り体験談



食事について



第2部のグループワークでは、お年寄りにも食べて頂いている栄養補助食品ややわらか食を試食していただきました。「意外と美味しい」「私はこの味が好みかも」「母が食べていて、どんな味が気になっていたのです。今回食べられて良かったです」「やっぱり普通のご飯を食べたいな・・・」「実際食べられなくなってしまったら・・・」など普段聞くことの出来ない家族さんの想いや考えを伺うことができ、とても貴重な時間となりました。



ショートステイ 玉樹 ～私の居場所～



ショートステイの利用者様は、それぞれに「利用の理由」が異なります。中には毎回“嫌イヤ”利用されている方もいらっしゃるのが現実です。何故利用するのか？何日間利用するのか？様々ではありますが、その日にすいせん荘に来ていただいた方皆さんには是非「きてよかった。また来るね」と心が満たされるような時間を過ごしていただきたいと想っています。



幸さん（仮称）は「どこにも行きたくない！家が一番だ！」と常に仰います。しかし、定期的にショートステイを利用するプランになっています。自宅から送りだしをするのは幸さんの拒否が強く大変なことだと、お嫁様から毎回話を伺っています。そんな幸さんですが、すいせん荘の暖簾をくぐると「今日からお世話になります幸です。よろしくお願いします」と職員、利用者様にあいさつをしてくださいます。そして「私の部屋はいつものところ？準備はできるのかな？」と真っ直ぐに【いつもの部屋】に向かいます。持参の電気シーツ、かいまき、テーブルに水を準備すると「は～大丈夫だね。ここは私の部屋だから」と安心の笑顔を見せてくださりベッドに横になりひと休み。不安な気持ちはもちろん払拭できてはいないですが…



デイサービスセンター 玉樹 ～友達のちから～



お年寄りには「きょうよう」と「きょういく」が大切だと言われています。「教養」と「教育」かと思いきや、「今日用（がある）」と「今日行く（ところがある）」の二つなのだそうです。確かに、何も用事がなく、どこにも行かず誰とも会わない毎日では、張り合いがなくて退屈ですよね。



行く場所があって、やりたいことがあって、会いたい人がいる。デイサービスで友達と会って一緒にお話をしたり、手作業をしたり、時にはお出かけをしたり…。休みの日も、「〇〇さんに教えてもらった作品を作ってみよう」とやってみたり、「この話を明日〇〇さんにしてあげよう」と思ってみたり…。何でもよいような一日の出来事に、友達を想うことで色がついていく。



デイサービスに会いたい人がいて、一緒にやりたいことがある。だからこそ、会えるのを待ち遠しく想う時間も楽しくなる。友達の存在が、皆さんの支えや活力になっていたら嬉しく思います。



デイサービスセンター じゅげむ ～食べる楽しみ in 甘茶屋じゅげむ～



じゅげむでは、毎日**手作りおやつ**を召し上がっていただいています。ケーキが焼ける匂いやお芋がふける匂いで「今日は何かな?」「おいしいもの作ってくれているよ」と楽しみにしてくださっております。

『美味しかった』『お腹がいっぱいになった』と言う満足感が得られると、身体が元気になり、気持ちも明るくなります。

“おいしさ”とは、**味・香り・食感・見た目・噛む音**など、**五感**を使って感じるものです。

また、顔なじみの方たちとの会話を楽しみながら食べるという**付加価値**があり、食べる楽しみは更にふくらみます。

これからも、『**美味しかった!**』『**楽しかった!**』と感じて頂ける雰囲気づくりを意識しながら、甘茶屋のレパートリーも増やしていきたいと思ひます。



居宅介護支援事業所 玉樹 ～ケアマネジャーの喜び～



2018年 介護保険制度の報酬と運営基準が改正されました

6年に一度の診療報酬とのダブル改定 団塊世代の介護や看取りへの需要が高まる、2025年以降を見据えた対応が焦点でした。

ターミナルケアマネジメント加算が創設

末期がんで、自宅で最後を迎える方に対して、頻回な訪問により、主治医助言を得ながら調整します。

入退院時のケアマネの役割が重視

利用者様の情報を、医療機関と共有し、切れ目のない支援が受けられるよう ケアマネを中心に動きます。

管理者を主任ケアマネとする

事業所の人材教育に責任を持つとともに地域全体のケアマネジメント力の向上を目指していきます。

4月から新人職員を迎え5人体制となりました。医療連携を中心に事業所内の勉強会や他法人との事例検討会等を行っており、幅広い視点で考え、利用者様の暮らしを、しっかり支えていきたいと思ひます。



秋のお泊りトキメキ♡バスツアー

平成29年10月29日～30日、在宅利用者対象に秋のお泊りトキメキバスツアーを開催し、千葉県勝浦に行ってきました。デイサービス玉樹から7名、デイサービスじゅげむから4名（家族様1名）、ショートステイから2名参加されました。

1日目 海ほたる



当日は台風であいにくの雨。景色を眺めるには残念でしたが、昼食は海の幸を堪能♪



♡ ホテル三日月

毎回1番盛り上がるのが、お泊りツアーならではの宴会♪ 食べきれない程のご馳走に、美味しいお酒！そしてカラオケも！



2日目 成田山、新勝寺



昼食は成田山名物の「うなぎ」に舌鼓♪



おみくじ♪



お参り♪

トキメキ

「時間を気にせずおしゃべりできて楽しか



トクさんとイワさんは、昔からのお友達です。踊りや歌をボランティアで披露して下さる会にも一緒に入っていましたが、トクさんが体調を崩され会を卒業した後は、会える機会が少なくなっていました。それからトクさんは玉樹のデイサービスに通うようになりました。お互いの家まで車で15分、誰かに送り迎えを頼まないと、なかなか会えません。

そんな時、紬会にて、送迎付の「サロン@じゅげむ」をオープンしました。すると、トクさんからイワさんをサロンに誘い、定期的に会うことができるようになりました。サロンでは、物作りや体操なども行っているのですが、久々に会えた二人は「今日は私達おしゃべりしたいから他はいいよ」と、何をやるわけでもなく本当に嬉しそうに「おしゃべりを満喫」されていました。

その頃・・・、ちょうど玉樹の在宅利用者様向けに「お泊りツアー」の参加者募集がはじまり、サロンに来ていた二人は「一緒に行きたいね!」とお話が盛り上がり参加することになりました。イワさんは「泊まりだから時間を気にせず話せるね～」と本当に嬉しそうでした。

ツアー中は、バスの席も、食事の時も、ホテルの部屋も、いつも一緒に隣同士♪お化粧する時には、口紅を貸し合ったり・・・、お互い年齢を重ねたお二人は、歩く時も「助け合いだよ～」と言いながら、手を繋いでいました。二人で過ごせる時間を心から楽しんでいるようでした。

トキメキ

楽

トキメキ

し

トキメキ

ち

ょ

トキメキ

つ

トキメキ

と

トキメキ

家

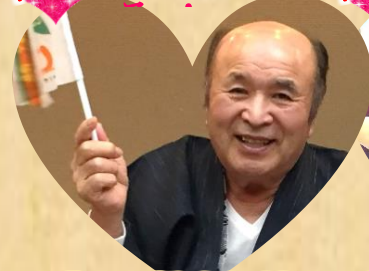
族

と

一

緒

に



「いつ行くんだ?」と たまには昼間から 「家族で旅行に連れて行く事は難しい」
当日まで何度も話題 大好きなお酒を♪ ので参加できて良かったです。他利用
者様や職員さんと交流する機会も持て

今回参加されたセツさんにツアーの案内をした時、「元気なうちじゃないと行けないし♪去年も行ったよね～」と言っていました。そして、ツアー後にデイサービスに来た時のことです。お風呂にゆっくり浸かりながら「旅行楽しかったよー、元気なうちじゃないとね! 2年続けて元気で行ってよかった!」と伝えてくださいました。このセツさんの「元気なうちに・・・」という想いは、誰しも心の中にあるのではないのでしょうか? それと同時に、「行きたいけど・・・」「やってみたいけど・・・」「一人じゃ不安だし・・・迷惑をかけるから・・・」とあきらめている方も多いと思います。

そんな後ろ向きになってしまっている心が、旅行に参加することが目標になって日々頑張ることができたり、参加できた事が自信に繋がる「キッカケ」になればと思っています。そして、元気なうちに・・・お泊りツアーに参加でき「あの時、行って良かった!」と思っていただけなら嬉しいです。

新職員さんご紹介 2018年3月、4月に玉樹の仲間入りをしました！



篠山忍さん
介護支援専門員



石川佳世さん
事務職員



岩田聖那さん
介護職員



吉村修さん
用務職員



今春は、色々な部署へ仲間が入り、新しい風を運んで来てくれています。

また、看護学校の学生さんが3人介護補助として仲間入りです。若い力に期待しています。



武藤瑠里さん
介護補助



江連斐奈さん
介護補助



野口瑞貴さん
介護補助

サロン@じゅげむ (八千代町高齢者交流サロン) 事業報告

実施機関 平成29年6月～
平成30年3月

実施回数 38回

利用者延べ人数 380名

ボランティア延べ人数 202名

介護予防を目的にスタートした、「サロン」回を重ねるごとに、その効果を実感しています。

〔参加者の声〕

- ・自信を取り戻した！
- ・家で過ごす時間が充実した！
- ・来る度、元気がでる！



2018年度 社会福祉法人袖会収支予算書

科 目	本年度予算	前年度予算	科 目	本年度予算	前年度予算
人件費支出	247,315,800	247,624,000	施設介護料収入	181,500,000	181,500,000
事業費支出	54,670,000	55,885,000	居宅介護料収入(介護報酬収入)	90,200,000	96,380,000
事務費支出	48,730,000	51,843,000	地域密着型介護料収入	31,250,000	31,250,000
支払利息支出	4,720,000	4,570,000	居宅介護支援介護料収入	18,200,000	18,100,000
その他の支出	2,320,000	2,300,000	介護予防・日常生活支援総合事業収入	1,720,000	1,750,000
設備資金借入金元金償還金支出	31,768,000	31,768,000	利用者等利用料収入	81,390,000	81,750,000
固定資産取得支出	7,000,000	5,490,000	その他の事業収入	910,000	805,000
ファイナンスリース債務の返済支出	4,655,000	3,655,000	寄付金収入	10,000	10,000
			借入金利息補助金収入	1,200,000	1,400,000
			受取利息配当金収入	5,000	5,000
			その他の収入	2,910,000	2,930,000
予備費	0	0	施設整備等補助金収入	5,230,000	0
当期資金収支差額	13,346,200	12,745,000			
計	414,525,000	415,880,000	計	414,525,000	415,880,000